

2026年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔 I F R S 〕（連結）

2026年 2 月13日

上場会社名 株式会社 A S J 上場取引所 東 名  
コード番号 2351 URL https://www.asj.ad.jp/  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 邦哲  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 IR室長 (氏名) 仁井 健友 TEL 048-259-5111  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (2025年 4 月 1 日～2025年12月31日)

( 1 ) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	1,939	1.0	51	112.1	46	104.2	27	△21.3	27	△21.3	34	16.2
2025年 3 月期第 3 四半期	1,919	△4.1	24	—	22	—	34	—	34	—	29	—

	基本的 1 株当たり四半期利益		希薄化後 1 株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
2026年 3 月期第 3 四半期	3	47	—	—
2025年 3 月期第 3 四半期	4	37	—	—

( 2 ) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年 3 月期第 3 四半期	4,842	2,848	2,848	58.8
2025年 3 月期	4,874	2,892	2,892	59.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
2025年 3 月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年 3 月期	—	0.00	—		
2026年 3 月期 (予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年 3 月期の連結業績予想 (2025年 4 月 1 日～2026年 3 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的 1 株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	2,800	2.2	110	△31.7	70	△71.5	8.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年3月期3Q	7,951,100株	2025年3月期	7,951,100株
2026年3月期3Q	149,218株	2025年3月期	18株
2026年3月期3Q	7,876,079株	2025年3月期3Q	7,951,082株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 7
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 9
(会計方針の変更) .....	P. 9
(追加情報) .....	P. 9
(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	P. 9
(セグメント情報等の注記) .....	P. 9
(重要な後発事象) .....	P. 9

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの概況といたしましては、「姫路ラボ&サーバセンター」稼働率向上に向けた新規サービスの開発、セキュリティ対策強化、生成AI活用に向けた社内研修、グループ全体の営業活動の強化等を実施してまいりました。また、コーポレート・ガバナンスの強化に取り組み、2026年2月6日付で東京証券取引所スタンダード市場へ市場区分の変更及び名古屋証券取引所メイン市場へ上場いたしました。

	2025年3月期 第3四半期連結累計期間		2026年3月期 第3四半期連結累計期間	
	売上収益	前年同期比	売上収益	前年同期比
<b>クラウドインテグレーションサービス</b>				
サブスクリプション売上収益	815,700千円	－%	890,359千円	109.2%
インテグレーション売上収益	378,005千円	－%	403,395千円	106.7%
クラウドインテグレーションサービス小計	1,193,705千円	－%	1,293,755千円	108.4%
<b>ECサービス</b>				
ECサービス小計	726,281千円	－%	645,888千円	88.9%
売上収益合計	1,919,986千円	－%	1,939,644千円	101.0%

当社グループでは、ネットサービス事業の単一セグメントであります。その中で、2025年3月期末より、売上収益につきましては、クラウドインテグレーションサービスとECサービスに分類して売上収益を集計し、開示しております。

## (クラウドインテグレーションサービス)

当第3四半期連結累計期間におけるクラウドインテグレーションサービスにおいて、安定的な収益源であるサブスクリプション売上収益は、前年同期比9.2%増の890,359千円と引き続き堅調に推移しております。また、インテグレーション売上収益におきましても、開発案件の獲得が進んだ結果、403,395千円（前年同期比6.7%増）となりました。その結果、クラウドインテグレーションサービス売上収益は1,293,755千円（前年同期比8.4%増）と増収となりました。

※サブスクリプション売上収益…クラウドサービスにおけるサービス利用料及び保守料金等

※インテグレーション売上収益…クラウドサービス提供に向けた開発売上及びシステムインテグレーション売上等（ECサービス）

当第3四半期連結累計期間におけるECサービスにつきましては、利益率の向上を目的とした販売戦略の見直しを実施いたしました。その結果、ECサービス売上収益は645,888千円（前年同期比11.1%減）となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上収益が1,939,644千円（前年同期比1.0%増）となりました。費用面につきましては、姫路ラボ&サーバセンター本格稼働に向けた先行費用の発生等により、当第3四半期連結累計期間における売上原価率は62.2%と前年同期比2.2ポイント上昇いたしました。販売費及び一般管理費につきましては、サブスクリプション売上収益が増加したことによる営業活動費の効率化、ECサービスにおける販売戦略の見直し等により販売費及び一般管理費率は35.3%と前年同期比3.2ポイント改善いたしました。

その結果、営業利益は51,885千円（前年同期比112.1%増）となり、法人所得税費用の増加等により、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては27,344千円（前年同期比21.3%減）となりました。

## (2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産につきましては、現金及び現金同等物が43,890千円、棚卸資産が40,887千円増加した一方で、営業債権及びその他の債権が54,823千円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ31,426千円減少し、4,842,630千円となりました。

また、負債につきましては、営業債務及びその他の債務が15,555千円増加したこと、未払消費税の増加等によりその他の流動負債が44,896千円増加した一方で、借入金の返済等により、非流動負債が28,038千円減少した等から、前連結会計年度末と比べ12,554千円増加し、1,994,047千円となりました。資本につきましては、親会社の所有者に帰属する四半期利益を27,344千円計上いたしましたが、配当金の支払い及び自己株式を取得したこと等により、前連結会計年度末と比べ43,980千円減少し、2,848,583千円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第4四半期に大型案件の納品を予定しており、連結業績予想は、当初予想の範囲内で推移しております。このことから、2025年5月14日発表「2025年3月期 決算短信〔I F R S〕」で公表いたしました通期業績予想に変更はございません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	989,514	1,033,404
営業債権及びその他の債権	723,338	668,514
棚卸資産	98,679	139,566
その他の流動資産	71,697	59,207
流動資産合計	1,883,228	1,900,693
非流動資産		
有形固定資産	1,932,741	1,882,833
のれん	13,134	13,134
無形資産	702,510	691,489
その他の金融資産	236,353	248,080
繰延税金資産	103,469	103,320
その他の非流動資産	2,618	3,079
非流動資産合計	2,990,828	2,941,937
資産合計	4,874,057	4,842,630

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	183,012	183,012
営業債務及びその他の債務	687,403	702,958
その他の金融負債	30,303	9,089
前受金	203,068	208,437
未払法人所得税等	11,936	7,922
引当金	32,819	32,819
その他の流動負債	84,478	129,375
流動負債合計	1,233,021	1,273,614
非流動負債		
借入金	510,771	486,429
その他の金融負債	23,012	20,962
退職給付に係る負債	147,219	146,611
引当金	23,616	23,733
繰延税金負債	43,752	42,696
その他の非流動負債	99	—
非流動負債合計	748,471	720,432
負債合計	1,981,493	1,994,047
資本		
資本金	1,375,538	1,375,538
資本剰余金	1,294,841	1,294,546
自己株式	△8	△53,951
その他の資本の構成要素	125,643	132,409
利益剰余金	96,548	100,039
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,892,563	2,848,583
資本合計	2,892,563	2,848,583
負債及び資本合計	4,874,057	4,842,630

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	千円	千円
売上収益	1,919,986	1,939,644
売上原価	△1,152,701	△1,205,977
売上総利益	767,284	733,666
販売費及び一般管理費	△739,780	△684,260
その他の収益	2,697	7,322
その他の費用	△5,735	△4,843
営業利益	24,466	51,885
金融収益	887	4,243
金融費用	△2,396	△9,257
税引前四半期利益	22,957	46,871
法人所得税費用	11,797	△19,527
四半期利益	34,754	27,344
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	34,754	27,344
非支配持分	—	—
四半期利益	34,754	27,344
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	4.37	3.47
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (要約四半期連結包括利益計算書)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	千円	千円
四半期利益 (△損失)	34,754	27,344
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	106	187
純損益に振り替えられることのない項目合計	106	187
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	△6,594	11,942
在外営業活動体の換算差額	1,100	△5,364
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△5,493	6,578
税引後その他の包括利益	△5,387	6,765
四半期包括利益 (△損失)	29,366	34,110
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	29,366	34,110
非支配持分	—	—
四半期包括利益 (△損失)	29,366	34,110



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分
	千円	千円	千円	千円	千円
2024年4月1日時点の残高	1,375,538	1,294,841	△8	113,563	—
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	106	△6,594
四半期包括利益合計	—	—	—	106	△6,594
配当金	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	—	—	—	—
2024年12月31日時点の残高	1,375,538	1,294,841	△8	113,669	△6,594

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	在外営業活動体の換算差額	合計			
	千円	千円	千円	千円	千円
2024年4月1日時点の残高	5,487	119,050	△134,236	2,655,186	2,655,186
四半期利益	—	—	34,754	34,754	34,754
その他の包括利益	1,100	△5,387	—	△5,387	△5,387
四半期包括利益合計	1,100	△5,387	34,754	29,366	29,366
配当金	—	—	△15,902	△15,902	△15,902
その他	—	—	△84	△84	△84
所有者との取引額合計	—	—	△15,986	△15,986	△15,986
2024年12月31日時点の残高	6,588	113,662	△115,468	2,668,566	2,668,566

当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

## 親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
				その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分
	千円	千円	千円	千円	千円
2025年4月1日時点の残高	1,375,538	1,294,841	△8	120,837	△558
四半期利益	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	187	11,942
四半期包括利益合計	—	—	—	187	11,942
自己株式の取得	—	△294	△53,943	—	—
配当金	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△294	△53,943	—	—
2025年12月31日時点の残高	1,375,538	1,294,546	△53,951	121,025	11,384

## 親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	合計
	在外営業活動体の換算差額	合計			
	千円	千円	千円	千円	千円
2025年4月1日時点の残高	5,364	125,643	96,548	2,892,563	2,892,563
四半期利益	—	—	27,344	27,344	27,344
その他の包括利益	△5,364	6,765	—	6,765	6,765
四半期包括利益合計	△5,364	6,765	27,344	34,110	34,110
自己株式の取得	—	—	—	△54,237	△54,237
配当金	—	—	△23,853	△23,853	△23,853
所有者との取引額合計	—	—	△23,853	△78,090	△78,090
2025年12月31日時点の残高	—	132,409	100,039	2,848,583	2,848,583

## (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

また、当四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。なお、当社グループは、グループ通算制度を適用しております。

(追加情報)

(連結子会社の解散)

当社グループは、当四半期連結累計期間において、連結子会社であるASUSA Corporationを解散することを決議し、解散手続きを結了したことにより、同社に対する支配を喪失したことから、同社を当社グループの連結範囲から除外しております。支配の喪失に関連した利益は軽微であり、要約四半期連結損益計算書の「その他の収益」に含まれております。

(要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費及び償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
	千円	千円
減価償却費及び償却費	194,577	212,278

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、ネットサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。